

平成18年3月30日
(株) グリーンダイナミクス

第2回 路地園芸トライアル ワークショップ資料（資料2）

おおよその路地がそうであるように、今回のワークショップで対象路地としている十条コーポA棟から井戸周辺も、建物が密集しているため、限られた日照しか得ることができない。

植物の生長を左右する要因の1つに、日照条件が挙げられる。

植物を大きく分けると、①日当たりを好むもの、②日陰を好むもの、の2つに分類できる。

日当たりを好む植物を、日照の少ないところに置くと、数日のうちに徒長がはじまる。また、日陰を好む植物を、日照の多いところに置くと、葉焼けなどの原因になる。

栽培には、環境に合った植物を選ぶことが重要である。

イギリスなどでは、「シェードガーデン」と言われる、日陰を好む植物を集めて、庭を構成する方法も好まれている。

シェードガーデンに適する植物は、日本原産のものも多く、代表的なものとして、ギボウシ、フウチソウなどが挙げられる。

以下、シェードガーデンに向く植物として、数種類を紹介する。

ギボウシ（ホスタ）

ヘデラ（アイビー）

フウチソウ

シダ類

ユキノシタ

ヒューケラ（ツボサンゴ）

オオバジャノヒゲ

ヤマアジサイ など